

市民協働事業提案制度 自己評価シート

令和 6 年度実施事業

作成日 2025 年 2 月 10 日

事業名	3Rにつながる暮らし講座
記載団体 又は担当課	富士友の会

※評価点（5段階）の基準

5 点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4 点：達成度60%～79%
3 点：（一部に問題はあるが概ね達成）達成度40%～59% / 2 点：達成度20%～39%
1 点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	前回の食品ロス講座が、リデュースとすると、今回はリユース、リサイクルを推進しながら、最終的にゴミ減量に繋げていくという講座ということで、その点を意識して講座を作りました。
②役割分担は適切にできましたか。	5	友の会で片付けを切り口に、その方法や心の問題にも触れながらの内容を提案すると、市の方では、その片付けで出た物の行方を具体的、実用的に示してくれました。市で作成されたおしゃれなチラシ宣伝効果も大きかったです。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	5	講座の内容の持ち方について不明な点は、具体的なアドバイスを頂いて進めることが出来たので、自信をもって講座を進めることが出来ました。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	食品ロスの講座からの継続でもあるので、プレゼンの時からフォローしていただき、その後もすべて信頼関係の上での実施に至ったと思います。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	5	友の会で任せられた内容で、片付けに対する意識を高める方法を伝えと、それに対するデータや具体的な方法を市で示して下さり、それが相乗効果となって市民により訴えることが出来たと思います。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

■（２）事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的・目標は達成できましたか。	5	3回の講座を通し、目標定員以上の受講者があったこと、片付けから、3Rに波及していくことを友の会の寸劇や映像、市ならではのデータ、映像などからの説明、双方の展示の中で具体的に示すことが出来た。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	すべて予定通りスムーズに進みました。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	5	妥当でした。ありがとうございました。
④事業に対する「受益者（市民）の満足度」は十分に図られましたか。 （受益者からの評価が分かる場合）	4	※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など 受講者の大半が片付けに対して興味を持ち、牛乳パックを使ったワークショップも行い、片付けは、引き出しひとつから始めるという意識を持っていただけたと思う。終盤の市のミニ講座も回を重ねるごとパワーアップしてよかったと思います。

■（３）その他、課題や改善方法など

今回、3度目の鷹岡まちづくりセンターでの講座の時、会場は広いが駐車場が狭いという問題が発生し、思うように人を誘えないということもあった。また、早めに定員に達し、地元の鷹岡地区に宣伝を控えるというジレンマもあった。しかし、当日は、鷹岡まちづくりセンターの職員の方々の配慮で混乱も無かったのは本当に感謝でした。駐車場の問題は、ところによってこれからのあると思いますが、その点はまちづくりセンターとの折り合いも付けていきたい。